

1. 租 2. 庸 3. 調 4. 公事

1. 新古今和歌集 2. 万葉集 3. 古今和歌集 4. 懷風藻

1. 雜徭 2. 租 3. 庸 4. 調

1. 公地公民の制 2. 班田収授法 3. 墾田永年私財法 4. 三世一身の法

1. 難波津 2. 神戸港 3. 博多港 4. 坊津

1. 日本で初めて、周囲を城壁で囲った本格的な中国式の都として造られた。
2. 貴族の権力争いを避けるために、現在の京都市に新しく建設された。
3. 唐の都である長安を模してつくられ、国際色豊かな文化が栄えた。
4. 当時の天皇が、軍事的な拠点とするために大阪の湾岸部に設置した。

1. すべて漢文の形式で記述されており、遣唐使として唐に渡った留学生や僧侶たちの体験を詠んだ歌が中心となっている。	2. カタカナを用いて当時の口語に近い形で記録され、主に寺院で修行する僧侶たちが仏教の教えを広めるために詠んだ歌が多い。	3. 平仮名を用いて日本語の繊細な感情が表現され、天皇や貴族による洗練された和歌のみが厳選して収められている。	4. 漢字の音や訓を用いて日本語の音を表現する万葉仮名が使われ、貴族から防人、農民まで幅広い階層の歌が収められている。
---	--	---	---

1. 朝鮮半島での影響力を強めた日本は、北路と南路の両方を自由に使い分けて遣唐使を派遣した。	2. 唐や新羅との関係悪化により安全な北路が使えなくなり、遣唐使は危険な南路を通ることを余儀なくされた。	3. 唐との国交が完全に断絶したため、遣唐使の派遣そのものが廃止され鑑真らの来日も阻止された。	4. 新羅が日本を支配下においたため、遣唐使は新羅の許可なしに航行することができなくなった。
--	--	---	--

1. 中央から派遣された官吏が、地域の有力豪族を実務担当者に任命し、戸籍の作成や租税の徴収を管理した。	2. 各地の有力な豪族が藩主となり、中央政府の干渉を受けることなく独自の法律や税制を用いて領地を統治した。	3. 中央から派遣された郡司が、現地の有力者である国司を指導することで、都の文化や制度を全国に広めた。	4. 武士の棟梁が地方ごとに地頭を派遣し、現地の豪族であった郡司に代わって土地の管理や警察権を行使した。
---	---	---	--

1. 公地公民の原則をより強化し、すべての土地を国が直接管理することで、農民の負担を軽減しようとした。	2. 班田収授法によって口分田が余りすぎたため、余った土地を貴族や寺院に分け与えて管理を任せることにした。	3. 仏教の力で国を安定させるため、聖武天皇が全国に国分寺を建てる用地を強制的に徴収しようとした。	4. 人口が増加したことにより、政府が農民に割り当てる口分田が不足し、食料確保のための土地開発が必要になった。
---	---	---	---

1. 律令に基づいた天皇中心の中長集権的な政治体制を、国内外に誇示するために、より大規模で威容のある都が必要とされたため。
2. 僧侶の政治介入を防ぐために、東大寺などの有力な寺院を都の郊外に強制的に移転させ、政治と宗教を分断するため。
3. 遣唐使の派遣を停止し、日本の独自の風土に合った国風文化を醸成するために、大陸の影響を受けない新しい都を求めたため。
4. 東北地方の蝦夷に対する征討を進めるにあたり、軍事拠点としてより北方に位置する奈良の地が地理的に有利であったため。

1. 最澄 2. 鑑真 3. 空海 4. 行基

1. 平安時代の中期に、平仮名を用いて女性の心情を細やかに表現している。
2. 武士の台頭を背景に、力強い歌風の和歌を中心に集められている。
3. 醍醐天皇の命令によって編集された、最初の勅撰和歌集である。
4. 天皇や貴族だけでなく、防人や農民など幅広い階層の人々の和歌が収められている。